

製品安全データシート

製造者情報

会社名 株式会社エーゼット
 所在地 大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
 担当者 大矢 真広
 電話番号 06-6915-3501
 F A X 番号 06-6915-1202
 緊急連絡先 所在地と同じ
 作成日 2011/09/29

整理番号 AD010326MDCDS76000※※

製品名 AZ リチウムグリース

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類

分類できない

可燃性／引火性ガス

分類できない

可燃性、引火性エアゾール

分類できない

支燃性／酸化性ガス

分類できない

引火性液体

分類できない

自己反応性化学品

分類できない

自然発火性液体

分類できない

自己発熱性化学品

分類できない

水反応可燃性化学品

分類できない

酸化性液体

分類できない

有機過酸化物

分類できない

金属腐食性物質

分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）

区分外

急性毒性（経皮）

区分外

急性毒性（吸入：気体）

区分外

急性毒性（吸入：蒸気）

区分外

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）

区分 4

皮膚腐食性、刺激性

区分 3

眼に対する重篤な損傷、刺激

区分 2A

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

区分外

生殖細胞変異原性

区分 2

発がん性

区分外

生殖毒性

分類できない

特定標的臓器、全身毒性（単回暴露）

区分 2（肺）

特定標的臓器、全身毒性（反復暴露）

区分 1（肺）

吸引性呼吸器有害性

区分外

水生環境有害性（急性）

分類できない

水生環境有害性（慢性）

分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

軽度の皮膚刺激
 重篤な眼への刺激
 吸入すると有害(ミスト)
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 遺伝性疾患の恐れ
 臓器の障害の恐れ
 長期又は反復暴露による臓器の障害
 水生生物に有害

使用上の注意

容器の記載事項をよく読む。
 製品の使用中、飲食および喫煙しない。
 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。
 呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
 屋外または通気性の良い場所で使用する。
 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合：水で口をよくすすぐこと。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
 眼に入った場合：水でよく洗う。コンタクトレンズを装着してる場合、固着してなければ外す。
 十分洗浄後、医師の手当を受ける。
 皮膚にかかった場合：水と石けんでよく洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。
 濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。
 腫れが生じたり皮膚への刺激が強い場合、医師の手当を受ける。
 製品は屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
 内容物、容器は規則に従って廃棄すること。

組成、成分情報	成分及び含有量	鉱油、リチウム石けん、添加剤
	化学式または構造式	混合物のため特定できない。
	C A S N o .	企業秘密のため非公表。
	官報公示整理番号	企業秘密のため非公表。
	国連番号	非該当
	消防法	非危険物
	労働安全衛生法 P R T R 法	通知対象物：鉱油(80～90%) 非該当

応急措置	吸入した場合	：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要なら医師の手当を受ける。
	飲み込んだ場合	：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の手当を受ける。
	眼に入った場合	：水でよく洗うこと。コンタクトレンズを装着してる場合固着してなければ外すこと。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
	皮膚にかかった場合	：水と石けんで十分、洗うこと。衣類が濡れた場合、直ちに着替えること。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯すること。腫れが生じたり皮膚への刺激が強い場合、医師の手当を受ける。

火災時の措置	消火方法	：速やかに容器を安全な場所に移す。 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から消火する。
	消火剤	：霧状の強化剤、泡粉末または炭酸ガス消火器。 棒状の水を使用しない。

漏出時の措置	保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海、下水道等に流入しないように注意する。		
取扱いおよび保管上の注意	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 取り扱い 炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、吸入、接触しないよう必要に応じて保護具を着用する。 屋外または通気性の良い場所で使用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。 使用中も水分、異物が混入しないよう、できるだけ密閉する。 保管 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 水分、異物が混入しないよう、必ず密閉する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。		
暴露防止措置	管理濃度	日本産業衛生学会(2004年度)	ACGIH(TLV-TWA)(2004年度)
	鉱油 設定されていない	3mg/m ³ (鉱油ミストとして)	5mg/m ³ (鉱油ミストとして)
設備対策	ミストが発生する場合、発生源の密閉化、または排気装置を設ける。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。		
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。		
保護眼鏡	必要であれば着用する。		
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。		
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。		
物理／化学的性質	外観等 滴点 揮発性 密度 溶解度	黄褐色半固体、ほとんど無臭 176℃ 弱い 0.93g/cm ³ 水に不溶	
危険性情報	引火点 発火点 爆発限界 可燃性 自然発火性 酸化性 自己反応性 粉塵爆発性 安定性 反応性	221℃ データなし データなし あり なし なし なし なし 安定 強酸化剤との接触をさける。	

有害性情報	刺激性	眼に入ると炎症を起こすことがある。 皮膚に触れると炎症を起こすことがある。
	急性毒性	経口 ラット LD ₅₀ : 5000mg/kg 以上(推定値)
	亜急性毒性	有用なデータなし
	慢性毒性	有用なデータなし
	発がん性	基油は IARC のグループ 3 に分類 (ヒトに対する発がん性については分類できない)
	感作性	有用なデータなし
	変異原性	有用なデータなし
	催奇形性	有用なデータなし
	生殖毒性	有用なデータなし
	その他	ミストまたは蒸気を吸入すると気分が悪くなることもある。
環境影響情報	魚毒性	有用なデータなし
	蓄積性	有用なデータなし
	分解性	有用なデータなし
廃棄上の注意	廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。	
輸送上の注意	輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか 容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。 さらに関連法令に従った措置も講じる。 第 1 類及び第 6 類の危険物及び高压ガスとの混載しないこと。	
適用法令	水質汚濁防止法・・・油分排出規制 5mg/L (ノルマルヘキサン抽出分として) 下水道法・・・鉱油類排出規制 5mg/L 海洋汚染防止法・・・油分排出規制 (原則禁止) 廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止) 労働安全衛生法・・・通知対象物：鉱油	
参考文献	1. ITRC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33 2. 許容濃度の勧告 (1992) 日本産業衛生学会 産業医学 35 巻 p. 323-367 3. 製品安全データシートの作成指針 (日本化学工業協会) 4. GHS 対応による混合物 (化学物質) の作成手法の研修テキスト (改訂版) (中央労働災害防止協会) 5. 各原料の MSDS	
注意事項	この製品安全データシート (MSDS) は通常の取り扱いを想定して作成したものです。 MSDS は安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じて使用してください。 MSDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。	